

**新学術創成研究科 ナノ生命科学専攻**  
**【授与する学位】博士（ナノ科学）**

大学（大学院）の目的
金沢大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。 博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

学類（研究科）の教育研究上の目的
新学術創成研究科は、革新的かつ新しい学問・産業の分野・領域の創成につながる異分野融合的な研究による成果や社会との往還を基盤に大学院教育を展開することで新たな学術の創成に寄与し、学際性・総合性・国際性を有する研究者や産業人等を養成することを目的とする。 博士後期課程ナノ生命科学専攻は、あくなき探求心と人・科学・社会に貢献する高い志を持ち、世界最先端のナノ動態計測・制御を生命・物質科学分野に展開し、未踏ナノ領域を切り拓く研究人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
<b>【修了認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】</b>	<b>【教育課程編成に関する基本的考え方】</b>	<b>【入学者受入れに関する基本的考え方（前文）】</b>
ナノ生命科学領域の授業や様々な研究活動を通じて、次に掲げる能力を修得させるとともに、所定の期間在学し、かつ所定の単位を修得した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に「博士（ナノ科学）」の学位を授与する。	学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる学修成果に到達するため、ナノ生命科学領域に関するカリキュラム（教育課程）を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。	修士又は博士前期課程等で修得してきた分野の専門知識のほか、研究者として自立するために必要な高度な英語運用能力を備え、卓越した研究者として求められる資質や探求力、直観力及び規範的倫理観を有する者を受け入れる。
<b>【学生が身に付けるべき資質・能力】</b>	<b>【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】</b>	<b>【求める人材】</b>
1.ナノ生命科学に関して自身の探求心・興味・関心に基づき全方向的に研究を実施できる能力 2.自身の研究分野と他分野を融合させ研究を完遂する能力 3.未踏の学際領域や新たな分野を開拓する能力 4.最先鋭の研究に係るプレゼンテーション力・多言語コミュニケーション力・論文作成能力	「あくなき探求心と人・科学・社会に貢献する高い志を持ち、世界最先端のナノ動態計測・制御を生命・物質科学分野に展開し、未踏ナノ領域を切り拓く研究人材」を養成するため、以下の科目を配置する。 1.ナノ生命科学研究者として全方向的な研究を行うために必要な視点を強固にするための基幹展開科目 2.新たな領域の研究に挑戦するために必要な最新の知見等を学ぶ深淵レベルのナノ生命科学革新科目 3.最先端の研究者として必須となる実践的な研究技能を身に付けるための高度スキル科目 4.分野融合研究や学内外での先鋭的な研究に参画し、国内外の研究者とコミュニケーションしながら、真理を探究する姿勢を身に付け、研究者としての実践を積むための高度プロジェクト科目 5.自身の研究分野に関する課題を解決し、研究完遂能力・プレゼンテーション力を涵養する高度研究推進科目	修士又は博士前期課程等で修得してきた分野の専門知識のほか、研究者として自立するために必要な高度な英語運用能力を備え、卓越した研究者として求められる資質や探求力、直観力及び規範的倫理観を有する者を受け入れる。
	<b>【学修成果の評価】</b>	<b>【選抜の基本方針】</b>
	(1) 学修成果の評価については、シラバス及び入学年度毎に発行する履修案内に記載する。 (2) 論文に対して審査基準と審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び試験を行う。	学力検査（口述試験）及び「学業成績証明書」を総合して選抜を行う。
		<b>【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】</b>